

桂川だより

28年度 9月
前期学校評価特別号
京都市立桂川小学校
校長 奥田 直孝



前期学校評価アンケート結果より

日頃は、本校の学校教育にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。6月に実施いたしました学校評価アンケートの結果をお知らせいたします。

今年度は、京都市の学校教育の重点、及び、本校の学校教育目標に照らし合わせた項目を設定し、「保護者」「児童」「教職員」それぞれの自己評価という形でのアンケートにしました。3者がそれぞれに自分自身の取組やかかわりを振り返り、見直しの視点が明らかになったのではないかと考えます。

これを機に学校評価が、学校と家庭が自らを振り返り、高いに高め合う中で、子どもたちの豊かな学びと育ちと一緒に実現させていくツールとなることを願っています。

～大好き桂川校～

学校教育目標

「みんなと高まり合い 学びつづける子」

めざす子ども像

か	かんしゃする子
つ	つよい心と体の子
ら	らしさを認め合える子
が	学習に進んで取り組む子
わ	わかるように伝え合う子

アンケート結果の概要

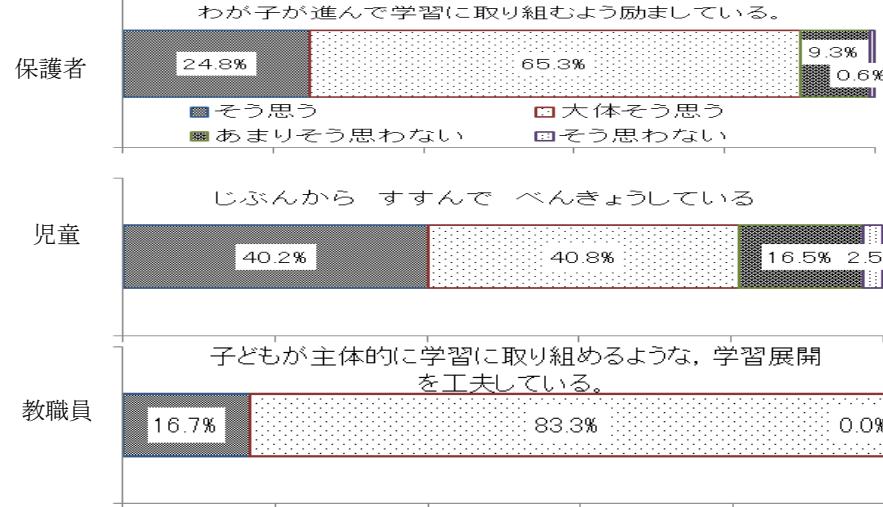
- 一番高いスコアを出したのが、児童評価の「友達を大切になかよく・・」の項目であることは、学校教育目標の「みんなと・・・」につながるものであり、めざす子ども像の『かんしゃする子』『らしさを認め合える子』にも通じ、大変喜ばしいことです。教職員については、「あまりそう思わない」「そう思わない」はともに0%ですが、自信を持って、「そう思う」と回答した割合が大変低い状況でした。学級づくりに自信をもって回答できるようになるよう、取組を進めていきたいと考えます。
- 昨年度より継続的に取組を進めている「あいさつ」については、3者とも高いスコアであり、実際、元気なあいさつの声が聞かれることが多くなっていると感じる昨今です。他者とのかかわりに関するこの2項目に良い結果が見られるということは、今後の子どもたちの成長にも大きくかかわってくると考えられ、うれしいことです。
- 保護者と教職員のスコアの低い項目を見ると、一つは共通して「読書習慣」に関する項目であり、これについては、児童の自己評価も低くなっている。もう一つについては、保護者は授業中の、教職員は家庭での学習についての項目であり、直接的にかかわる内容ではないが、今後、取組やかかわり方を考えていく必要があると考えられる。
- 「学校は楽しい」「授業はよく分かる」の項目の児童評価は高いが、「そう思わない」「あまりそう思わない」を合わせてそれぞれ、6.4%, 5.3%いることも看過できない。

アンケート結果集計表

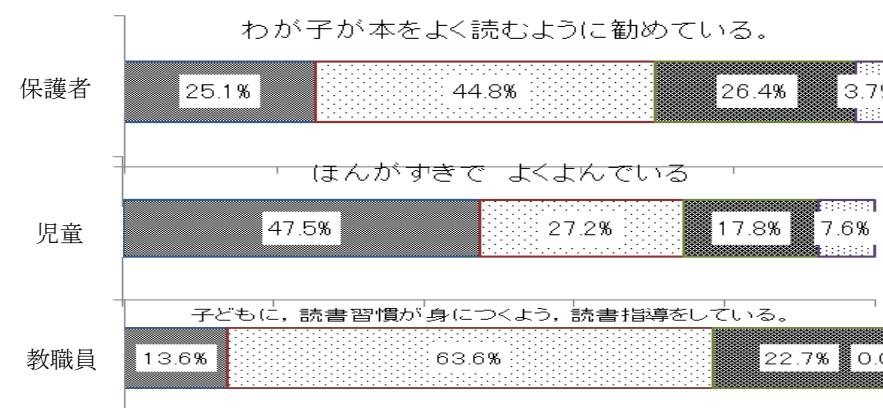
質問ごとの回答の平均値を最高7点のスコアで表示した表です。保護者・児童・教職員の3者で比較してみました。下線付きは最高スコア、網掛は低い項目です。児童のスコアが高かった項目から順に載せています。

保護者質問項目	スコア	児童質問項目	スコア	教職員質問項目	スコア
わが子が友達を大切に仲よくするよう働きかけている。	<u>6.2</u>	ともだちを たいせつにしなかよくしている。	<u>6.5</u>	互いに思いやり、支え合う学級づくりができている。	4.4
わが子が楽しく通学できるよう、学校での楽しかったことを中心に家庭で話題にしている。	5.6	がっこうは たのしい。	6.3	全ての子どもが、楽しく学校生活を送れるよう環境づくりをしている。	5.6
わが子にきまりや約束を守るとの大切さを話している。	<u>6.2</u>	きまりや やくそくを まもって せいかつしている。	6	子どもが、きまりや約束を守って生活できるよう、桂川スタンダードの実践を進めている。	5.6
わが子が学習を理解しているかを把握している。	5.1	じゅぎょうは よく わかる。	6	分かる授業の工夫と実践を日々行っている。	5.4
家族間であいさつをするよう心がけている。	6.1	じぶんから あいさつをしている。	5.9	子どもが、自分からあいさつできるよう、自ら気持ちのよいあいさつを心がけている。	<u>6.3</u>
わが子に、家庭学習の習慣がつくよう働きかけている。	5.3	いえで じぶんから しゅくだいなどの べんきょうをしている。	5.9	子どもが、進んで家庭学習に取り組むような課題を工夫して与えている。	4
わが子が、できるだけ自分で考えて判断できるように働きかけている。	5.6	よいこと わるいことを じぶんで きめて すごしている。	5.8	子どもが、自分で考え、正しく判断できるような支援をしている。	5.2
子どものよさを認め、ほめている。	5.6	ともだちの よいところを みつけられる。	5.7	子どものよさを積極的に見つけ、ほめている。	6.1
わが子が授業中進んで話したり書いたりするよう励ましていく。	<u>4.9</u>	じゅぎょううちゅう じぶんのかんがえを すすんで はなしたり かいたりしている。	5.5	子どもが、自分の思いや考えを進んで話したり書いたりできる場を設定している。	5.3
わが子が、早寝・早起きをし、毎日朝ごはんを食べるようになっている。	6	はやね・はやおき・あさごはんなど まいにちの せいかつりすむに きをつけ て すごしている。	5.4	子どもに、早寝・早起き・朝ごはんなどの基本的な生活習慣が身につくような働きかけをしている。	4.7
わが子が進んで学習に取り組むよう励ましていく。	5.3	じぶんから すすんで べんきょうしている。	5.3	子どもが主体的に学習に取り組めるような、学習展開を工夫している。	5.1
わが子が本をよく読むように勧めている。	4.8	ほんがすきで よくよんでいる。	5.2	子どもに、読書習慣が身につくよう、読書指導をしている。	4.2
HPやお便りを見て、学校の様子や教育方針をわかっている。	5.2			HPや通信で、学校の様子や教育方針を保護者に伝えている。	5
学校や地域の行事にできる範囲で参加するようにしている。	5.1			保護者や地域の方々と交流を深め、地域行事に参加している。	4.7

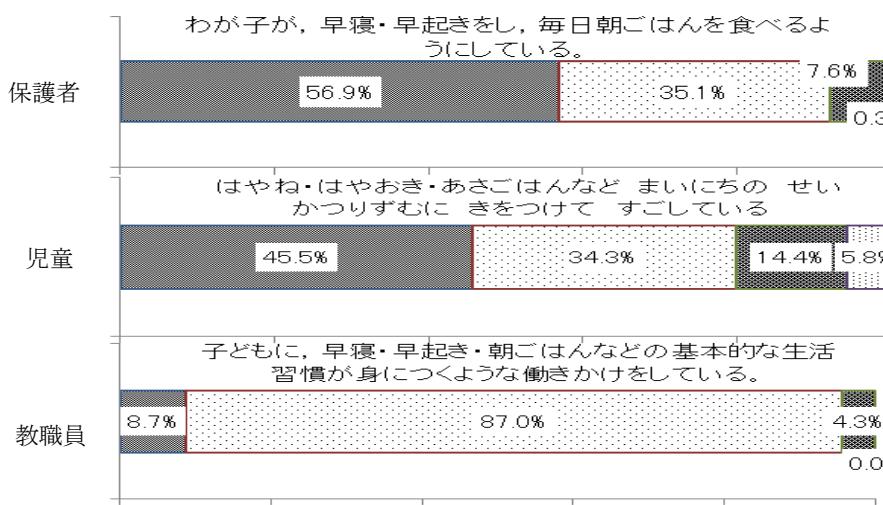
がく習に進んで取り組む子



この項目は、児童の評価が3者の中ではやや厳しく、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせて、19パーセント、約5分の1の児童となっている。それでも、学習に取り組もうとしているのは、周囲の励ましがあるからであろうと考えられる。教職員側からは、楽しさを感じられるような学習展開をさらに工夫していきたい。



昨年度に引き続き、スコアの低い項目である。今年度は、朝休みの本の貸出・毎朝の読書タイムの設定を行い、週1回は必ず図書館を訪れるという計画で読書指導を進めている。4月からの取組を見直し、より充実した読書指導をしていきたいと考える。



つよい心と体の子は、規則正しい生活から

テレビ視聴やゲーム、高学年ではメールやSNSなどにより、就寝時刻が不規則になりがちな子どもが見受けられます。睡眠不足や朝ごはん抜きにより、午前中の学習に集中できない、体調を崩しやすいということないようにしたいものです。ご家庭のご協力、どうぞよろしくお願いします。

自由記述より～ご意見いただいたことをまとめて掲載しています～

- とても楽しく登校している様子がうかがえます。
- HPをこまめにアップしてくださるので学校の様子がよく分かり、親子の会話のきっかけともなり助かります。
- 子どもの自主性を尊重し、子どもの能力・やる気を引き出してくださいっている点がよいと思います。
- 昼休み後の「ぐんぐんタイム」ができたことがよい。
- 「ミニ科学タイム」は子どもが楽しみにしています。
- 家庭において、授業で進んで話したり書いたりするよう励ますことが抜けており、どうやって皆さん励ましておられるか知りたい。
- 算数の少人数指導は継続してほしい。
- 先生に相談しやすい。些細なことでも聞きやすいし、話しやすいと思います。
- ロング昼休みもあり、休み時間に先生と遊べて喜んでいます。
- 個人の問題を、クラスだけでなく、学年の先生方で対応してくださり、真剣に子どもに向かっていただいているのでうれしく思います。
- 読書の習慣をつけるのに、朝読書の取組はいいと思います。
- ジョイントプログラム前の宿題対策や、学年担任間での分担授業など、中学校を意識した取組はとても子どもに良いと思います。
- いつも先生や地域の方が子どもたちを見守ってくれていると感じます。
- 今回のアンケートで、家庭も教育の場という意識が薄れてきていることに気付かされました。
- 自主勉強の宿題は大変いいと思うのですが、毎日同じようなことをしたりするので、工夫できるような指導をしてほしい。
- 集団登校では、1列に並んでルールを守って歩っています。上級生を見習って下級生もそうしているのかと思い、感心しています。ただ、こちらからあいさつをしても返してくれる子が少ないように思います。
- 学校行事に参加して、色々な方とあいさつしますが、笑顔がないので、皆様と笑顔であいさつできたらいいと思います。
- 低学年の時からもっと英語に親しめる活動があればよいと思う。
- 周りで、子どもだけでお店に入り、お菓子や飲み物を買っている子や、遊ぶときに自販機でジュースを買って飲んでいる子がいるという話を聞きます。何かトラブルにならないか心配です。
- 読書に興味がもてるよう、学校でも指導してほしい。
- 「読書の日」を作成してほしい。

